



《こども版》 としょかんだより No.302

2009年

1・8月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

「とってもとってあいたいの！」 シムズ・タバック/作 フレーベル館



おんなのこは「とおくにすんでいるひとに、どうしたらあえるかな」と、はれたひも、あめのひも、まいあさ、まいばん、ずっ—とかんがえました。そして、じぶんをゆうびんでおくることをおもいつきました。

「すてごろうのひろったもの」★ 松居スーザン/作 文溪堂

年とった川ネズミのすてごろうは、小川のほとりで、大切なものをさがしています。もう何年なんねんもさがしつづけていますが、なかなかみつからず、小川にながれてくるものをなんでもひろってためこんでしまいました。



「ポロポロゆうびん」★ 竹下文子作 あかね書房



ある日、とむくんに、ポロポロとうにいるおじさんから「あそびにこないか」と、てがみがとどきました。「ポロポロとうにはどうやっていくの」と、へんじをかいたとむくん。てがみをだしに郵便局ゆうびんきょくへ行くと「じぶんでいってごらん」と局長きょくちやうが、とむくんのおでこに、きってをはりました。

星や宇宙の本を読んでみよう！
—宇宙☆太陽☆月☆地球—



今年是世界天文年です

イタリアの科学者ガリレオが望遠鏡を作り、初めて宇宙をながめたのが今からちょうど400年前。今年はそのを記念して「世界天文年」と定められたのです。また、7月22日に鹿児島県かごしまけんの島では、46年ぶりに太陽が月でかくされる皆既日食かいきにっしょくというめずらしい現象げんじょうをみることができます。

昔話・民話

「かぐやひめ」(日本昔話) 円地文子／作 岩崎書店

「たなばた」(日本昔話) 岩崎京子／作 フレーベル館

「七つのほしのものがたり」(ロシア民話) 西本鶏介／作 フレーベル館



もうなん日も、雨がふらない日がつづいています。女の子は、びょうきのおかあさんに水をのませるため、木のひしゃくをもって水をさがしにでかけました。

「ほしのぎんか」(グリム童話) フレーベル館

「ほしになつたりゅうのきば」(中国民話)
君島久子／再話 福音館書店



ほしになつたりゅうのきば



子どもがほしいと長い間願っていた、じいさまとばあさまのところに大きな石が落ちてきてなかから男の子が出てきました。「サン」と名づけられ、子どもはりっぱな若者は成長しました。ある時、2匹の兄弟龍きょうだいりゅうが、桃の実ももをめぐって大げんかをし、天にぶつかって穴をあけてしまいました。

ちしきの本

「日食 月食^{げっしょく} オーロラ」 “太陽・月・地球の現象”

学習研究社

地球や宇宙で起きているめずらしい自然現象が紹介され、またどうしておこるのかなどのしくみがわかります。

「天体観測^{かんそく}☆100年絵事典」 PHP研究所

今から100年間に起きる宇宙のできごとが、表やイラストを使って楽しく解説されています。

ものがたり



ドリトル先生シリーズから「月」3部作

「ドリトル先生と月からの使い」

「ドリトル先生月へゆく」

「ドリトル先生月から帰る」

ヒュー・ロフティング／作 岩波書店

動物たちの言葉がわかり敬愛^{けいあい}されているドリトル先生。ある晩、先生の家にも月の世界からきた巨大な「ガ」がたずねてきました。

「星の王子さま」 サン＝テグジュベリ／作 岩波書店

飛行機が不時着^{ふじちやく}したサバクで、「ぼく」は1人の王子さまと出会いました。王子さまは、自分の星に咲いていたバラとけんかして旅にでたというのです。



「星空へようこそ」

横山充男／作 文研出版

6年生の幸太と淳は天文大好き少年。2人は新しい天体望遠鏡^{ぼうえんきょう}がほしいのですが、値段が高くて買えず悩んでいます。そんな時、東京から1つ年下のいとこの愛梨^{あいり}がやってきました。

あたらしくはいった本

えほん

「びょういんにおとまり」 バラージュ・アンナ/文 風濤社

へんとうせんをなおすために、ぼくはひとりでびょういんに、おとまりすることになりました。あたらしいともだちがたくさんいるベットにあんないされたあと、しんでんずをとったり、じびかどがんかをまわり、いろいろなけんさをするようになりました。



ものがたり

「天才少年ダンボール博士の日記」 ★★ フランク・アッシュ/作 ポプラ社



アレックスは、泣き虫で、なまいきで、おしゃべりな弟のいる地球^{ちきゅう}から脱出^{だつしゅつ}し、できるだけとおくはなれた星^{うちゅうひこう}に行くために、宇宙飛行^{うちゅうせん}計画^{けいかく}を考えています。アレックスは、宇宙船^{うちゅうせん}をダンボールでつくろうと考えました。こまかい設計と組みたてには、何週間もかかりました。

「タイムチケット」 ★★★ 藤江じゅん/作 福音館書店

マサオの趣味^{しゅみ}は、キップ^{しゅうしゅう}の収集^{しゅうしゅう}です。今、ほしいのは昭和4年4月4日の4がならんだキップです。ある日、マサオは散歩^{さんぽ}の途中^{とちゅう}、「タイムチケット」と、書かれた不思議なうす茶色の紙切れをひろいました。



「科学工作図鑑」①エコパワー

立花愛子 佐々木伸/著 いかだ社



利用した工作が44点紹介されています。

風の力を利用した風力測定器や
かんたん風車、水の力を利用した
タコのかくれんぼなど自然の力を

< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272